

電子書籍づくりの経過

1998年10月、電子所移籍コンソーシアムが発足、「ブック・オンディマンド・システム総合実証実験」がスタート。

当時はまだナローバンドの時代、数十MBの電子書籍を快適にダウンロードできる環境は少なく、実証実験でも全国の書店20店舗に設置された販売端末で購入するシステムとなっていた。(電子書籍は通信衛星で書店の端末に配信される仕組み) 読書端末については、「バッテリー消費がはやい」、「重たい」、一番の危惧は「コンテンツが増えるのだろうか?」ということ。読みたい本がなければ市場は大きくならない。

実証実験では、3464点が配信されたが、読みたい本は数冊。これが数万冊、数十万冊の規模になるまでには何年かかるかの想像もつかない。(これは技術よりも権利処理の問題が大きかった)

実証実験が終了した2000年3月以降、電子書籍のプラットフォームが次々と立ち上がり、「電子書籍元年」を迎えますが、同時にモバイルインターネットの時代に入り、電子書籍の主戦場はモバイルになるのではと言われた。なぜならば、読書端末の条件(端末の携帯性、通信機能、課金プラットフォーム、アプリの提供など)をクリアしていたのは、パソコンではなく工機能の携帯電話であった。

2007年11月、AMAZONが読書専用端末KINDLEを発売。9万冊以上の電子書籍を用意していた。その後スマートフォンが普及し始め、2010年にはタブレット元年につながっていった。まだ市場は小さく、コンテンツ(電子書籍)もなかなか増えませんが、2000年の電子書籍元年から10年がたつて、やっと離陸寸前のところまで来たようである。

基礎知識

音楽と映像と同じように、書籍や雑誌にもデジタル化の波が押し寄せてきている。

電子書籍(電子ブック)は、1980年代から商品化されていますが、インターネット(ウェブ)やモバイル技術などを経て、いよいよ「紙」に近づいてきました。まだ、紙の代替にはなりません、電子書籍市場は確実に成長していくでしょう。

リーダーアプリケーション

電子書籍は「本」+「ビューワー」のデジタルコンテンツです。

読書には必ず「リーダー」というハードウェアおよびソフトウェアが必要になる。

読者が「読みづらい」「扱いにくい」と感じた場合、書籍の組み版だけでなく、リーダーの設計が強く影響しています。

リーダーアプリケーションの種類と仕組みや機能が重要であります。

電子書籍のワークフロー

電子書籍のワークフローとは「作業の流れ」のことですが、電子書籍を効率よく作成するには「作業の全体像」を把握した上で進める必要がある。

電子書籍のオーサリングソフトやリーダーアプリケーションのアップデートが速いため、一度構築したワークフローも必要に応じて、頻繁に改良しなければならない。

「作業の全体像」を俯瞰できないと、スピードについていけないばかりか、柔軟なワークフロー構築の考え方を理解、構築することが重要である。

素材データと交換データ

電子書籍を作成するときに必要となる「素材データ」と「交換データ」については、素材は、原稿（テキストファイル）や図版（画像ファイル）などですが、電子書籍を作成する度に最適化したデータを準備していたのでは作業効率化はできない。また、読者のニーズに応えるには、複数のデバイス（およびプラットフォーム）を対象に、さまざまなフォーマットの電子書籍を作成しなければなりません。つまり、ワンソース・マルチユースをどう実現するかが大事である。

実践1 EPUB 電子書籍の設計と製作

構築したワークフローに沿って、EPUB や AZW(Kindle)、MOBIPOCKET、IBOOK、XPDF などの「文字主体の電子書籍」は、タグ付きドキュメントがソースファイルになっているため、マークアップがメインの作業になる。電子出版とは言いつつ、実際はエディトリアルデザインより Web デザインに近い作業である。

実践2 EPUB 電子書籍の仕上げとプレビュー

電子書籍は、紙の書籍と同じように「表紙」（ブックカバー）があります。ストアやリーダーアプリケーションの書棚では、アイコンとして機能するため、視覚的に訴求するユウイツの要素になっている。

実践3 EPUB 電子書籍をあらゆる読書環境に対応させる

電子書籍の利点の1つに「アクセサビリティ」と「ユニバーサル」があります。視覚障害者や紙の本を読むことの困難な人たちには、録音図書や大活字本など、カスタマイズされた書籍でしか情報をえられませんでした。Web ページは、あらゆる人に等しく情報を提供できるメディアとして定着しているが、「ウェブの技術」を採用している電子書籍のフォーマットにもユニバーサルな仕組みが継承される。

マルチデバイス対応やアクセサビリティが重要である。